

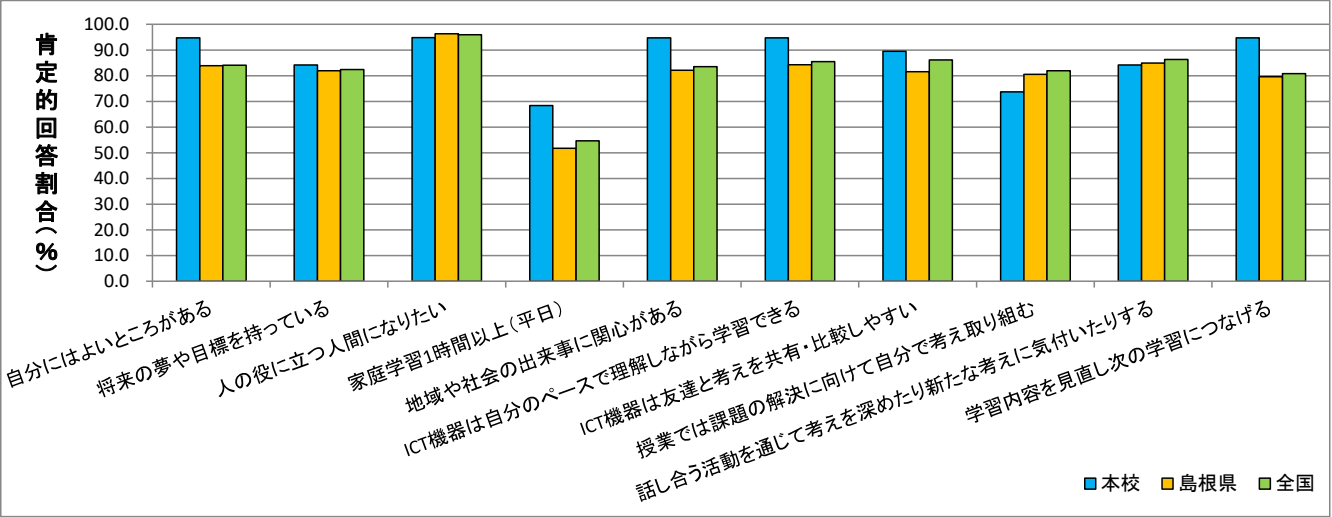
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○日常生活でよく使う漢字については書くことができる。 ○身近な話題(たてわり遊び)に対しては、場面設定などをイメージできており、正答率が高い。 ●無回答率が高く、問題に取り組むことをあきらめている児童もいる。 ●条件に合わせて文章を書く力や、相手が話していることを理解する力、大事な情報を選び、自分の考えと照らし合わせて問題を解く力が弱い。	・あらすじや要旨などをまとめ、文章に書くことを授業に取り入れれたり、朝の会での教師の話を聞いて、短くまとめる活動を行ったりする。 ・休み時間や家庭学習などで読書の機会を増やしたり、読み取る力を伸ばすトレーニングワークのドリルに取り組んだりする。
算数	○四則演算、演算決定の基礎的な理解ができている。 ○円柱の展開図の円周と側面の長さについて理解できている。 ●情報を正しく読み取ったり、考え方を説明したりする力に課題が見られる。 ●既習事項をもとに課題解決の方法を思考する力に課題が見られる。	・理由や数の処理のしかたを順序立てて説明する機会を積極的に設けるとともに、図や表などの資料を使い、根拠を明らかにして説明する場を算数だけでなく、他教科でも設ける。 ・既習の知識をもとに思考できるように、問題場面を図式化したり数直線で表したりする活動や、日常の場面に置き換えて考える活動を多く取り入れる。

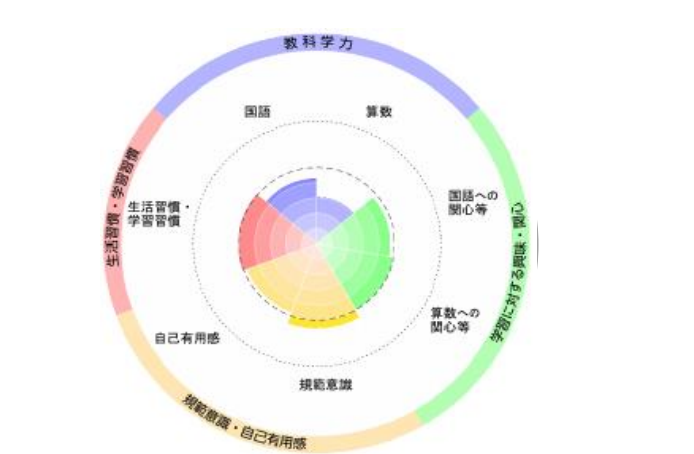
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○地域の方に、学習活動に参加していただく機会をたくさん設けることで、自分の地域の課題について考えたり、調べたりする学習に意欲的に取り組むことができている。 ●自分によいところがあると答える一方、認められていないという思いを持っている児童もあり、自分の意見や考えに自信が持てずに諦めてしまう心の弱さがある。問題に根気強く向き合う強さが足りない。	・今後も地域の方に学校活動に協力していただき、地域とのつながりを持ち続ける。 ・自信を持って取り組むことができるように、事前指導などをしっかり行い、児童の頑張りを認め褒めることで、自己肯定感、自己有用感を高める。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・児童自らが問題を見出し友達と協働して解決していく学習過程や学習形態を工夫し、児童が主体的で対話的に学びを深めていくことができるように授業改善を図っていく。
・ICTを効果的に活用した授業づくりを行っていくことで、主体的に課題を解決する態度や、対話を通して自らの学びを深めていく思考力・判断力・表現力を育てていく。

【受検者数】
19 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。